

こんにちは

# 会社訪問記

クリーンな地球づくりのために、  
産業廃棄物を適正に処理。

## 豊栄化学株式会社

(愛知県豊田市)

豊田市で、自動車関連の産業廃棄物処理を行っているらっしゃる豊栄化学株式会社に伺い、鈴木社長と平松営業部マネージャーのお二方にお話をさせていただきました。

— まず、創業されたのは何年ですか。

鈴木社長(以下鈴木に略)『昭和48年6月に廃棄物処理法の施行に合わせて許可を取得。以来、トヨタグループの各社から排出される産業廃棄物やスクラップを回収し、処理することをメインに事業を展開してまいりました。』



鈴木社長

— 貴社の事業ポリシーを教えてください。

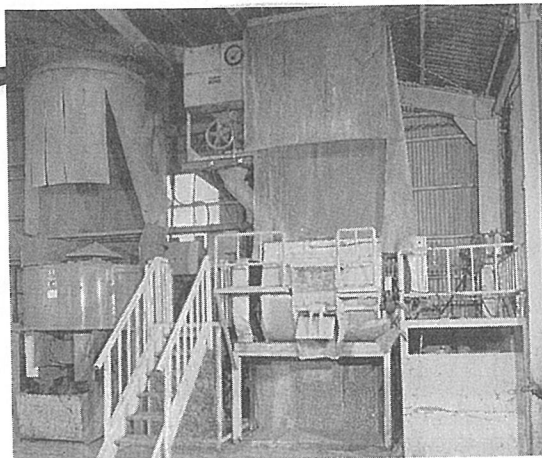
平松営業部マネージャー(以下平松に略)『長年培った高い技術とノウハウを活用し、有害な物を安全な形に変え、処理することです。』

— 産業廃棄物の処理方法での貴社の特色といえば何でしょう。

鈴木『当社の場合、関連会社の(株)豊栄商会と二人三脚で産業廃棄物やスクラップを処理しております。回収された時点でリサイクル可能な物を最初にふるい分けて豊栄商会に回して減量化し、二次製品になりにくい物を当社で適正に処理処分を行うわけです。特色としては、有害物のコンクリート固化処理を積極的に行っている点が上げられると思います。この処理を20年以上も前から手がけております。』

平松『コンクリート固化のメリットは、処理後の安全性や有害物の化学変化の起こりにくさ、比較的ローコストで処理ができること、埋立処分後の土壌が安定することが上げられます。』

— では少し話題を変えて、現在従業員は何名



中間処理施設

いらっしゃいますか。また、従業員教育において取り組んでいることがあれば教えてください。

鈴木『従業員は28名ですが、必要に応じてグループ企業内で協力し合い業務に取り組むように心がけています。』

平松『従業員教育に関してもグループ内で共同で行っています。安全会議等を定期的に関き、作業時の安全指導や薬品関係の取扱注意などに重点を置き指導をしています。有害物を取扱いますので、絶対に間違いのない対応を行うことが大切ですね。』

— 最後に、産業廃棄物処理を行う上で心がけているテーマがあれば教えてください。

鈴木『地球環境の保全を通して、緑豊かな自然と住みやすい環境を子供たちに残すこと、でしょうか。これこそ当社の実現すべき使命ではないかと考えております。』



社名/豊栄化学株式会社 所在地/愛知県豊田市堤町寺池66  
代表者/鈴木昌昭 創業/昭和48年 従業員/28名 TEL/0565(52)6641  
事業所/本社、最終処分場 営業種別/収集運搬、中間処理、最終処分  
取扱い品目/燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、  
繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鉱さい、ダスト類、引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性腐アルカリ、特定有害ダスト類、特定有害燃え殻、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害腐アルカリ